

iD Essential 30 iD Elegance 55 Square Set 55

Installation Instructions

LUXURY VINYL TILES

重要事項

本施工要領書に記載されている事項が、全て遵守されているか確認をお願いします。

- ・ 施工について不明点ございましたら、Tarkett の担当者にお問い合わせ下さい。
- ・ 本施工要領書に記載の内容は予告なくより良い改善の為に変更されることがあります。
- ・ 連続する施工箇所では同じバッチナンバーの製品にて施工をして下さい。
- ・ ケースを重ねて保管する際、最大5ケースまでの小単位でお願いします。
- ・ 施工の際は室温15°C以上で、施工24時間前には施工予定の部屋で保管し室温に順応させて下さい。
- ・ 下地は平坦で水平で、施工用のマーク(出墨、ペン等)のない清潔な状態、また、乾燥し硬化しており、平滑で湿気にさらされない状態にして下さい。吸収性のある下地の場合、適度な湿度の下地になるよう、下地の含水率の確認及び調整する必要があります。
- ・ Tarkett推奨のLVT用接着剤を使用してください。その際、接着剤メーカーの説明、手順を必ず守ってください。

下地

下地は平坦で水平で、施工用のマーク(出墨)、例えばペン、マーカー、塗料などあらゆる種類の色移りによる変色を引き起こす可能性のあるものがない、清潔な状態、また、乾燥し硬化しており、平滑で湿気にさらされていない状態にして下さい。下地調整、含水率の確認及びその施工手順は、使用する国の施工基準に従って下さい。下地の含水率は、その国の基準に従って試験した場合の、許容される最大含水率の基準を下回る必要があります。

例えば英国では、コンクリート表面の相対湿度は 75% 未満、CCM 方式では 2% 未満でなければなりません。北米では、ASTM F-170 は水とセメントの比率を 0.40 ~ 0.45 にすることを推奨しています。下地のレベリング剤を選択する前に、床材が施工後にどの位の歩行量になるか確認して下さい。ラテックス系のレベリング剤は、歩行量が多く、特にキャスターローラーを多く使用する場所(細いキャスターローラーで重量物を運搬)には適していません(EN 12529「キャスターと車輪」参照)。必ずレベリング剤の適合性を確認し、レベリング剤メーカーの指示に従ってください。

注: 免責事項(接着剤、レベリング剤など)

Tarkett では、接着剤、レベリング剤、防水シートの推奨メーカーと製品のリストがありますが、リストにある製品は性能を保証するものではありません。推奨リストはこちらからご覧いただけます。なお、メーカー及び製品のリストは、最新のものでない場合もございますのでご確認願います。

Tarkett は、これらの推奨製品が弊社製品と一緒に施工したが、機能しなかった場合について、一切の責任を負いません。使用された推奨製品が、使用に適しており、メーカーの推奨に従って施工されていることを確認するのは、各メーカーおよび床材の施工請負業者の責任となります。

施工条件

塩ビタイルの施工は少なくとも 24 時間前に最低室温 15° C で保管することが重要です(各国の規制を参照)。この温度は施工期間を通じて維持する必要があります。下地の最低温度は 10 ~ 12° C、室温は 15° C である必要があります(各国の規制を参照)。室内の推奨相対湿度は 35 ~ 65% です(各国の規制を参照)。

塩ビタイルは、ケースの中で平らに、ケースを重ねて保管する際、最大5ケースまでの小単位でお願いします。



床暖房

床材の施工前に、床暖房システムを事前に試運転され、正しく機能していることを必ず確認して下さい。
床暖房システムの電源は床材の施工開始の 48 時間前に切り、施工完了後も少なくとも 48 時間は切った状態のままにしてください。床暖房システムが停止している間は、施工エリアの温度が 18 ~ 27° C の範囲内で一定に保たれるよう、必要に応じて代替の暖房機器を用意して下さい。

設定の室温に達するまで、数日間かけて 1 日数度ずつ温度を徐々に上げて下さい。床暖房の温度は、床材業界で合意している最高値の 27° C 超えないようにして下さい。(接着剤の限界温度の基準)

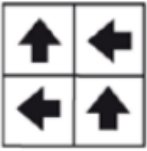
貼り付け

塩ビタイルの施工を開始する前に、部屋の形状を考慮しと貼り付け方法のデザインを決めて下さい。

重要！塩ビタイルの最初の列を張り付ける前に、次のことを確認してください。- 壁に最も近い塩ビタイルの幅が 10 cm 以上である - 出入り口と角では、塩ビタイルが塩ビタイル全体の半分以上ある。

タイル

タイルフォーマットの裏面には矢印が付いています。タイルフォーマットは市松模様貼りつける必要があります。設置は部屋の中央から開始し、側面(壁)に向かって施工して下さい。



ブランク

ブランクフォーマットの場合は塩ビタイルの各列をずらして、端のジョイント部がその前に貼りつけられた角と重ならないようにして下さい。木目柄の場合、同柄の塩ビタイルが並ばないように張り付けて下さい。

接着

Tarkett が推奨するアクリル樹脂系接着剤を使用して接着して下さい。推奨するヘラ(TKB 規格のA1) を使用し、約 250 g/m² を塗布して下さい。必ず接着剤メーカーの指示に従い、接着剤の塗布時間をオープンタイムを遵守してください。特定の条件、つまり、著しい温度変化(ベランダなど)や歩行量が多い場合には、二液性接着剤が必要になる場合があります。その際は、塩ビタイルを端から端まで隙間なく貼り付けます。

施工予定箇所に敷設後、角の丸い板を使用し、塩ビタイルを手で圧着します。その後、重いローラーで両方向に圧着し確実に下地と接着されているか確認して下さい。

施工後

重要！施工後48~72時間経過してから、歩行や家具の移動を行って下さい。

養生

施工後も他の工事が継続する場合、塩ビタイルをハードボードまたは合板で養生する必要があります。マスキングテープは塩ビタイルに直接貼らないで下さい。ジョイントの隙間から接着剤が押し出される可能性があるため、施工後しばらくは重い台車での通行は避けて下さい。

初期清掃

新しい床材を使用開始する前に、初期清掃メンテナンスを推奨します。残った接着剤はメチルアルコールと清潔な布で取り除いて下さい。

軽く汚れている床: 掃除機をかけるか、湿ったモップで拭き、浮いた汚れや粉塵を取り除いて下さい。床洗浄機は広いエリアを清掃する際に効果的です(研磨/ドライヤー等が可能なシリンダー複合洗浄機)。